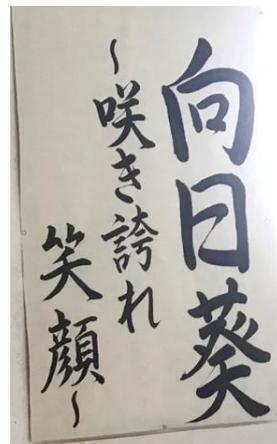


大分教育事務所訪問 28

大分市立坂ノ市中学校から学ぶ

学校の教育目標「自ら学び、豊かな心とたくましい実践力を備えた生徒」を育成するために、「我ら坂中健児！ 元気に登校 笑顔で下校」を学校経営の合い言葉として、目指す生徒像を「ねばり強く頑張る生徒」「明るく挨拶のできる生徒」「やさしく思いやりのある生徒」「他人に迷惑をかけない生徒」「からだを大切に作る生徒」として、学年主任を中心に組織的に取り組んでいます。



学校経営から学ぶ

学校経営の取組項目については、それぞれのご担当（主任）が4月からこれまでの成果と課題を明確にして、職員の意見を集約し共通理解を図っています。このように、短期で検証を行い、次の取組指標を継続、変更することで、より成果や課題が明確になり焦点化された実践が期待されます。

今後は、学校経営計画表にあるそれぞれの「取組項目」は、生徒にどのような「資質・能力（3本柱）」を育成しているのかを明確にすることで、校長先生がおっしゃった「人と関わる力」「人（相手）のことを考える力」「自分を知る力」の育成につながり、「学校経営の重点（目標項目）」や、目指す生徒像に近づいていくことでしょう。



NO.138 2021年6月 大分市立坂ノ市中学校

背中を見ると

やる気、集中、諦めない。
共に成長する集団だ！



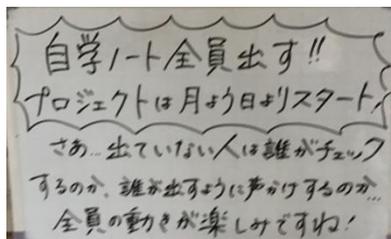
NO.139 2021年6月 大分市立坂ノ市中学校

双方向

少ない空き時間に生徒のノートを廊下で見る。生徒の成長を知り、教師の思いを伝える場である。

授業から学ぶ

参観したどの教室からも学びに向かう姿や笑顔が見られました。また、全学級の参観授業について、単元及び題材と本時の「ねらい」を提出していただき誠にありがとうございました。しかしながら、せっかく作成していただいたにもかかわらず、参観できなかった学級もあり心からお詫び申し上げます。



NO.140 2021年6月 大分市立坂ノ市中学校

本気だから

友達の困りには、とことん向き合う。

今後は、本校の校内研究の研究仮説にある終末の「振り返り」で、生徒達がどのような事を書くのか、どんな姿になったら良いのか等、教師が願う具体的なゴールの姿とすることで、「めあて」との連動や、評価規準がより明確になります。そのような、具体的な実践を日常的に行うことで、生徒の表現力や実践力がより身につくと思われました。